

令和5年度 特別委員会活動報告

議会改革特別委員会

昨年の令和5年4月に土岐市議会議員選挙の改選がありました。5月の臨時議会で新たに当選されました議員を含め、議会改革特別委員会を改めて編成いたしました。議会改革特別委員会の主な取り組みとしては、議会基本条例のさらなる検証について。女性議員及び若い世代を含む議員のなり手不足の解消について。オンライン等の市議会へのICTの導入について。さらに議会改革の主たる取り組みの一つとして、議員定数の適正化の検証が挙げられます。これまでの議員定数については、平成11年に定数26名から2名削減し24名にし、平成15年には定数24名から2名削減し22名に、そして平成19年には定数22名から一挙に4名削減し18名となり現在に至っています。しかし、土岐市の人口は平成8年に66,621人をピークに年々減少の一途をたどっております。土岐市議会では人口減少下における市議会議員の適正な議員数について、平成28年度から各種要件を鑑み慎重に調査・研究を進めてきました。そして平成30年度時点において議員定数については、土岐市の人口が55,000人を切った時点で、改めて検討すると結論付けされました。今年の3月31日現在の土岐市の人口が54,680人まで減少し55,000人を切ったため、平成30年度の議会改革特別委員会の申し送りを踏まえ、土岐市議会の議員定数の適正化について、引き続き議会改革特別委員会で調査・研究に取り組んでまいります。

(令和5年度 議会改革特別委員会委員長 小栗恒雄)

広報広聴特別委員会

今年度の一つ目の活動として4年間開催できなかった議会報告会を昨年コロナ感染症が5類に移行され実施可能となり、コロナ禍前迄は議会運営委員会が主になり開催していましたが、今回から当委員会で企画することとなり昨年の市民の皆さんにもご協力を頂き市内6会場にて実施出来ました。様々なご意見を頂き今後の課題として引き続き改善策を講じ、もっと皆さんと対話できるような報告会や意見交換会に努めてまいります。

二つ目の活動は、議会改革特別委員会より引き継いだ議会PRのために先ず子どもさんにも知ってもらおうと「子ども向けリーフレット」の作成に向けチラシ作成部会を当委員会内で設け他市議会のものを参考にしなが、土岐市独自のリーフレットを年度内に作る事が出来ました。今後第二段として、イラストなど高校の生徒さんにご協力を頂き、親しみのあるものにしていきたいと次期委員会に引き継いでいくこととしました。



(令和5年度 広報広聴特別委員会委員長 北谷峰二)